

2年次（平成22年度） 各支部研修事業計画

	研究組織	研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
新潟	1 新潟 小学校部	<p>○「生きる力」をはぐくむ心と体の健康教育の充実を目指して子どもたちによりよい生活習慣を身につけさせるために、各学校や地域の実情に即して進めてきたこれまでの取組の成果を共有し、精選しながら、さらによりよい実践を重ねることで健康教育活動を充実させていく。その中で、「養護教諭の専門性」、「組織的な健康教育活動」について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班部会を構成し、班別研修を行う。</li> <li>・ P D C Aサイクルを意識した研修を行う。</li> <li>・ 研究主題に迫るための手段・方法として「保健室経営の重点活動表」を柔軟に取り入れ活用し、より効果的に健康教育を推進していく。重点活動表作成にあたっては、自校の健康課題を明らかにし、コーディネーターとして組織的に健康教育が推進するよう考慮する。</li> <li>・ 各班の成果を部員全員が共有するために、研究集録を作成し、部内報告会を行う。</li> <li>・ 講師を招き、全体研修会を行う。</li> </ul> <p>○1年次の研修の成果と課題から・・・ 養護教諭のコーディネーターとしての働きを分類してみると地域・関係機関との連携の機会が少ないことが分かった。このことから、効果的な連携方法の選択肢を広げ、共有化しながら取り組んでいく必要があること。また、実際に学校で、日々健康教育を推進するにあたり、自校の健康課題解決が学校組織全体の中で行われるよう、養護教諭は専門的立場から意見を述べ参画していく必要があること。2年次はこのような視点から考察していく。</p>	<p>講師：上越教育大学教職大学院 赤坂 真二 「気になる子どもの理解と支援」</p>
	1 新潟 中学校部	<p>生徒の実践力を高めるための「性教育」を保健学習の中で展開、実践していく。 保健学習を行うにあたり、養護教諭はコーディネーターとしての役割を担い、組織的な運営や活発な教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区別の研究テーマに沿って、地区研修の充実を図り、1人1実践に向けた研究を進める。</li> <li>・ 2年間の研究をまとめ、成果の共有化を図り、一斉研修会での授業公開に向けて研究を深める。</li> </ul> <p>一斉研修会で公開授業を行う。 地区で作成した指導案や資料をもとに代表者が地区別の公開授業を実践し、評価を行い、改善点を明確にする。それを受けて、自校での1人1実践に取り組む。</p>	<p>公開授業：( 県中教研養護部指定発表会を兼ねる ) 新潟市立両川中学校 養護教諭 渡辺 秋子 主題 「エイズ」</p>

		<p>講師を招いて研修会を開催し、授業力と資質の向上を目指す。</p> <p>2年間の「研究活動のまとめ」を作成し、成果の共有化を図る。</p> <p>保健室重点活動表を作成し、組織的な健康教育活動を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H21「重点活動表の考察」「研究実践状況調査結果の考察」また「クロス集計」や「独立性の検定」について報告会をもち、研究内容を共有化し、2年次に活かす。</li> </ul>	<p>講師：千葉大学教育学部 教授 高橋 浩之</p> <p>「保健学習を通して知識を行動に結びつける力とは」(仮)</p>
	2 佐渡	<p>各学校の健康課題や子どもの成長への願いを明確にし、保健室重点活動表を作成する。</p> <p>養護教諭は、コーディネーターとしての役割を意識しながら、組織的な運営や健康教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の研究課題に基づいた保健室重点活動表を作成する。</li> <li>・研究部からのアンケートに回答する。実践を論文形式(又は実践報告)で書く。仮説に基づき、活性化した要因・しなかった要因を探る。どんな支援が結果に結びついたか検証する。研修会を開催し、養護教諭としての資質向上を目指す。二年間の研究活動のまとめを作成し、共有化を図る。</li> </ul>	<p>講師：新潟市立小須戸中学校 校長 若月 弘久</p> <p>「健康教育をマネジメントする養護教諭」</p>
下 越	3 新発田	<p>全体研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招き、研修会を実施する。</li> </ul> <p>小学校部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫雲寺地区におけるWY S H教育の実践報告</li> <li>・重点活動表の提出</li> <li>・中央研修報告</li> <li>・重点活動表の提出、2年間の実践研究のまとめ提出。(論文をめざして各自の実践をまとめ冊子にする。)</li> </ul> <p>中学校部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WY S H教育についての伝達講習</li> <li>・市内全生徒対象に性に関する意識調査実施と集計・考察(マークシート法によるアンケートの集計方法と 二乗検定について)</li> <li>・重点活動表の作成、提出</li> </ul>	<p>【小中合同研修】</p> <p>講師：群馬医療福祉大学 教授 鹿間 久美子</p> <p>「健康教育推進のためのデータ処理について～ 二乗検定～」</p> <p>【小中高合同研修】</p> <p>講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子</p> <p>「健康教育活動を活性化させるための養護教諭のあるべき姿」(仮)</p> <p>【小学校部】</p> <p>研修報告：紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子</p> <p>「現場で行う感染症対策」</p> <p>【中学校部】</p> <p>公開授業：紫雲寺中学校 養護教諭 古田島 直子</p> <p>「よりよい人間関係を築き、将来の夢がもてる生徒の育成～WY S H教育の視点を活用した取組～」</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究</li> <li>・重点活動表の提出、2年間の実践のまとめ提出。 (論文をめざして各自の実践をまとめる。)</li> </ul>	公開授業：第一中学校 養護教諭 古川 幸子 保健学習「ストレスへの対処」
4 村上・岩船	小学校部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一実践したもの(重点活動表、資料、論文)を集約し、冊子等で共有化する。</li> </ul> 中学校部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を開催する。</li> <li>・健康教育の活性化の要因について検討する。</li> </ul> 小中合同研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康課題解決に向けた組織的な健康教育活動について」実践発表会を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招き、研修会を実施する。</li> </ul>	【中学校部】 講師：群馬医療福祉大学 教授 鹿間 久美子 「実践の有効性を検定するための、二乗検定等について」  【小中合同研修会】 実践発表： 小川小学校養護教諭 菅原 恵子 山北中学校養護教諭 菅原 静江  指導者：下越教育事務所 指導主事 栗林 祐子  講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子 「健康教育活動を活性化させるための養護教諭のあるべき姿」(仮)
5 五泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度 研究実践状況調査結果から、有効な運営活動を整理し、共通理解を図る。</li> <li>・平成21年度 研究実践状況調査の結果をふまえ、保健室経営の重点活動表を作成する。</li> <li>・研究実践集を作成し、研究実践発表会を開催する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招き、研修会を実施する。</li> </ul>	講師：新潟市立小須戸中学校 校長 若月 弘久 「組織的な健康教育を行うためにコーディネーターとしての役割」  講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子 「健康教育活動を活性化させるための養護教諭のあるべき姿」(仮)
6 胎内・聖籠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室重点活動表を作成する。(養護教諭が行う組織的な活動の視点から)</li> <li>・研修会を開催する。</li> <li>・保健室重点活動表の実践、進捗状況について情報交換し、共有化を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田地区との合同研修会</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室重点活動表の達成状況を確認しながら、改善につなげていく。(各自)</li> <li>・保健室重点活動表の年度末の達成状況とその成果について、キーワードに沿って考察しまとめる。</li> </ul>	講師：黒川中学校 養護教諭 鈴木 千代子 「実践発表及び論文の書き方・まとめ方等について」  講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子 「健康教育活動を活性化させるための養護教諭のあるべき姿」(仮)

7 阿賀野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の健康課題や3つのキーワードに着目するほか、『小・中研究実践状況調査結果の考察(1年次)』で*のついた項目から、自校に活かそうなものをピックアップし、それらを盛り込んだ「保健室経営の重点活動表」を作成し実践する。また、組織的な活動をより活性化させた(または、させられなかった)要因についてもふれた考察なるよう心掛けて取り組む。</li> <li>・養護教諭の行うコーディネーターとしての役割を、より具体化し、実践できるようにするための講義を受ける。</li> <li>・会員が「保健室経営の重点活動表」を持ち寄り、お互いの実践を知り、成果と課題の共有化を図ることにより、会員の資質向上を目指す。</li> <li>・養護教諭の専門性やコーディネーター的役割など、2年間の総まとめとしての講義を受け、2年間の各自の実践を振り返るとともに、次年度への研究の方向性について考える機会とする。</li> </ul>	<p>講師：上越市立安塚中学校 教頭 久保田 智恵美 「養護教諭が行うコーディネーターとは」(仮)</p> <p>講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子 「健康教育活動を活性化させるための養護教諭のあるべき姿」(仮)</p>
8 阿賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 養護教諭の実践から学ぶ研修</li> <li>・研修 「2年間の研究の総まとめ」の視点で</li> <li>・研修 実践集録の作成と会員の実践発表会</li> <li>・研修 個人による研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健室経営の重点活動表」提出</li> <li>・(新発田支部の研修会に自主参加)</li> <li>・『10秒のできるクイックデータアナリシス』を紹介し、自己研修を勧める。</li> <li>・年度末に提出をする重点活動表&lt;考察&gt;に検定を取り入れる等、ステップアップを目指す。</li> </ul> </li> </ul>	<p>講師：新発田市立紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子 「健康教育活動の活性化に向けた取組～3年間の実践から～」</p> <p>講師：女子栄養大学 教授 三木 とみ子 「健康教育活動を活性化させるための養護教諭のあるべき姿」(仮)</p> <p>指導者：下越教育事務所 指導主事 栗林 祐子</p> <p>講師：群馬医療福祉大学 教授 鹿間 久美子 「健康教育推進のためのデータ処理について～二乗検定～」</p>
中越 9 燕・弥彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健室経営の重点活動表」第1回目の提出</li> <li>・第1回研修会 実践発表から学ぶ。 グループ研修(重点活動表の課題別グループによる研修)</li> <li>平成21年度 実践状況調査結果について考察しあい、運営活動の活性化のための要因について自校の状況とてらし合わせて検証してみる。</li> </ul>	<p>実践発表：長岡市立与板中学校 養護教諭 浅井 里恵子 「養護教諭が行う組織的な活動～自校の実践から～」</p> <p>講師：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回研修会 講義</li> <li>・「保健室経営の重点活動表」第2回目の提出</li> <li>・次年度の方向性の説明、今年度のまとめ</li> </ul>	「まとめを意識した実践のポイントについて」(仮)
10 加茂・田上	<p>研究実践状況調査結果から、健康教育活動を活性化させたと考察できる運営活動を参考にし、重点活動表を作成し、実践する。 健康教育を活性化させる要因を具体的な数値や根拠を明確にして考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達講習を行う。</li> <li>・「保健室経営の重点活動表」を作成する。</li> <li>・研修会を開催する。</li> <li>・グループ別研修を行う。 「保健室経営の重点活動表」の考察について発表し、意見交換を行う。</li> <li>・達成状況と次年度の方策、考察記入した「保健室経営の重点活動表」を提出する。</li> </ul>	<p>指導者：県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p> <p>「研究実践状況調査の結果と考察・具体的な数値や根拠を明確にした考察の仕方」</p> <p>講師：三条市立四日町小学校 養護教諭 渡部 美恵子</p> <p>「重点活動表に基づく実践と評価について」</p> <p>指導者：県立教育センター指導主事 長谷川 由佳</p>
11 三条	<p>「保健室経営の重点活動表」に昨年会員の実践から得られた活性化に非常に強い関連があった項目を取り入れ作成し、実践、検証する。 自校の健康課題解決のため、組織的に健康教育活動を推進していくための方策や考え方を研修し、会員相互の情報共有化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健室経営の重点活動表」を活用し、計画的に実践を進める。</li> <li>・「保健室経営の重点活動表」に基づく、健康教育活動の評価と今後の課題の分析を行う。</li> <li>・年度末に実践をまとめ、会員相互の情報共有化を図る。</li> <li>・研修会 実践発表</li> <li>・自主研修：「保健室経営の重点活動表」に自校の健康課題と子どもの成長への願いや健康課題解決の取組を記入して実践する。</li> <li>・研修会 「保健室経営の重点活動表」の達成状況とその結果をまとめる。 各自の実践について情報交換をする。</li> </ul>	<p>実践発表：長岡市立与板中学校 養護教諭 浅井 里恵子</p> <p>指導者：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子</p> <p>講師：魚沼市立広神東小学校 教頭 佐藤 千栄子</p>
12 見附	1年次の内容の継続及び2年間の研修のまとめを行う。	

	<p>各校における「保健室経営の重点活動表」に基づき、計画的に実践をすすめる。 重点活動表に基づく健康教育活動についての評価と反省を行い、全会員で共通理解し活用する。</p> <p>講師を招いて、研修会を開催する。 「特別支援教育」や「組織的な健康教育活動」について、講師を招いて研修会を開催する。 5年目研修受講者による実践発表会を開催する。</p>	<p>講師：見附市立今町小学校 教諭 三嶋 綾子 「発達障害の理解と保健室での支援について」</p> <p>講師：新潟県立見附高等学校 養護教諭 土田 秀 「健康教育と支援のあり方を探る ～養護教諭としての実践を振り返って再考する～」</p> <p>実践発表：見附市立見附第二小学校 養護教諭 横山 美由記</p> <p>指導者：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子</p>
13 長岡・三島	<p>健康課題別グループに分かれ、研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10グループに分かれ、グループリーダーを中心に資質向上のための研修を行う。</li> </ul> <p>合同グループ研修会を開催する。</p> <p>研修内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの活動及び個人研究を、機関誌「陽日」に掲載し、報告する。</li> <li>・各グループで個人の実践のまとめを共有し、その中から1～2名の実践のまとめ及び重点活動表を提出してもらい、市内共有フォルダまたはCDに入れ、全会員で活用できるようにする。</li> <li>・年度末の全体研修会で、グループの研修内容を伝達する。</li> <li>・研推だよりを発行する。</li> </ul>	<p>講師：新発田市立紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子 「健康教育活動活性化に向けた3年間の取組」</p>
14 十日町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の反省を受けて、県全体の1年次の考察から研究のすすめ方を学び、健康教育活動をより活性化するための要因をさぐっていく。</li> <li>・第1回研修会・総会での講義</li> <li>・2年次「保健室経営の重点活動表」作成・実行・まとめに活用する。</li> <li>・第2回研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康課題テーマ別のキーワードを生かした実践研修」</li> <li>・性教育研修 中学校単位で性教育の見直し・確認・・・各地区</li> <li>・ウイッシュ教育の実践研修</li> <li>・「中間達成状況と今後の方策」記入する。</li> </ul> </li> <li>・第3回研修会 2年次の成果をふまえたまとめを集約し冊子の作成を行う。</li> </ul>	<p>講師：県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「1年次の考察から学ぶ研究のすすめ方とまとめ方」</p> <p>実践発表：十日町市立中条小学校 養護教諭 渡辺 里子 十日町市立中里中学校 養護教諭 村山 真紀</p>

<p>15 小千谷</p>	<p>自校の健康課題をより明確にして「保健室経営の重点活動表」の評価・改善を行い、運営活動を重視した組織的な取組を各校で実践する。</p> <p>「1人1実践」を研究集録にまとめ、第3回研修会で各校の実践発表と意見交換をする中で共有化を図り、指導力の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部総会で講義</li> <li>・支部研修2年次の計画について（提案と共通確認）</li> <li>・第1回研修会</li> <li>・第2回研修会</li> <li>・第3回研修会 講演または実践発表の予定 各校の実践発表と意見交換、支部研修のまとめ</li> </ul>	<p>講師：小千谷市立塩殿小学校 校長 高橋 克哉 「養護教諭に期待すること」</p> <p>講師：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子 「保健室経営計画と保健室経営の重点活動表の一本化について」 「学校安全計画の立案について」</p> <p>講師：群馬医療福祉大学 教授 鹿間 久美子 「健康教育を組織的に推進するための働きかけについて」(仮)</p>
<p>16 魚沼・川口</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部研究計画の説明</li> <li>・第1回研修会 グループ研修（1年次の実践研究や今年度の保健室経営の重点活動表を持ち寄り、グループ協議を行う） 情報交換</li> <li>・第2回研修会 保健学習授業参観及び協議会参加 魚沼市立宇賀地小学校</li> <li>・第3回研修会（小千谷支部と合同開催）</li> <li>・実践発表：各学校の実践を持ち寄り、共有を図る。</li> </ul>	<p>講師：群馬医療福祉大学 教授 鹿間 久美子 「健康教育を組織的に推進するための働きかけについて」(仮)</p>
<p>17 南魚沼</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健室経営の重点活動表」を作成、提出</li> <li>・第1回研修会&lt;講義&gt;</li> <li>・小・中合同研修会&lt;グループ協議&gt;</li> <li>・第2回研修会 &lt;講演会：講演内容、講師等未定&gt;</li> <li>・第3回研修会 2年次のまとめ、実践発表、実践集の作成</li> </ul>	<p>講師：県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「養護教諭が行う実践研究の進め方まとめ方」</p>
<p>18 柏崎・刈羽</p>	<p>自校の健康課題と子どもの成長への願いを明確にし、「活性化の要因」を生かした運営活動の工夫を取り入れた「保健室経営の重点活動表」を各自で作成し、随時評価と見直しを行い、改善を加えながら実践を進める。</p>	

		<p>第1回支部研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの今後の活動について</li> <li>・「保健室経営の重点活動表」の『調査結果「活性化の要因」』から取り入れた運営活動の工夫の情報交換と検討。</li> </ul> <p>第2回支部研修 講義</p> <p>第3回支部研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表による実践発表</li> <li>・2年間の柏崎・刈羽支部研究の評価反省</li> </ul> <p>テーマ別グループ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ毎に8つのグループに分けて研修。</li> <li>・「保健室経営の重点活動表」の「運営活動」から、コーディネーターとしての役割や組織を動かす上でのそれぞれの工夫や問題点について協議し、自校の健康教育活動に生かす。</li> </ul> <p>平成21・22年度の実践のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ「健康教育活動を活性化させる要因に関する研究」のそつてまとめた「実践のまとめ」(研究論文又は実践報告)と「保健室経営の重点活動表」を全員分まとめて配布。</li> </ul>	<p>講師：県立教育センター指導主事 長谷川 由佳 「養護教諭が行う研究の進め方」</p>
上越	19 上越	<p>「平成21年度 研究実践状況調査結果の考察」を基に自校の重点活動表を作成する。「保健室経営の重点活動表」を活用する中で、組織的な健康教育活動でのコーディネーターとしての役割を明確にした運営活動を展開し、子どもたちの変容についてできるだけ科学的に評価(質の評価)・考察を行う。</p> <p>コンピュータ情報研修(全体と小中ブロック別を実施)アンケートや統計の取り方・検定の仕方などを研修する。</p> <p>全体研修 実践的研究をしている養護教諭の実践発表と、外部講師から、科学的評価をふまえた考察の仕方について研修をする。</p> <p>2年次のまとめ 全会員分の「保健室経営の重点活動表」をまとめ、冊子を作成する。</p>	<p>講師：上越教育大学 特任准教授 中野 博幸 「アンケートの処理の方法と分析の初歩」</p> <p>講師：上越教育事務所 指導主事 中村 直美 「科学的評価をふまえた考察の仕方」</p>

<p>20 妙高</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 2 年度の研究の概要確認、支部研修の方向性について</li> <li>・ 昨年度の重点活動表の評価（成果・課題）と、実践状況調査の考察を基に、保健室経営の重点活動表を作成</li> <li>・ 重点活動表の読み合わせ(作成の視点について)</li> <li>・ 重点活動表の中間報告、重点活動表のまとめ方（考察の仕方）について再確認</li> <li>・ 今年度のまとめ、グループ討議</li> </ul>	<p>講師：上越教育事務所 指導主事 中村 直美 「養護教諭が行う実践のまとめ方、考え方」</p>
<p>21 糸魚川</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織的な健康教育活動の展開や、重点活動表における質的評価・考察のまとめ方についての研修</li> <li>・ (市教育研究会保健部研修会として実施) 実践発表からの学びとグループ協議 支部内の養護教諭の実践発表から、組織的な健康教育の推進について学ぶ。 自校の保健室経営の重点活動表をもとにグループ協議を行い、成果や課題について共有化を図る。</li> <li>・ 会員各自が、自校の健康課題を明確化し、養護教諭の思いや願いを生かした保健室経営の重点活動表を作成する。</li> <li>・ 1年次の振り返りや今年度の研修会・実践発表からの学びを生かし、年度末には2年間のまとめを行う。</li> </ul>	<p>講師：上越教育大学 教授 下村 義夫 「よりよい『保健室経営の重点活動表』を目指して」</p>